

広告

宮城県腎臓協会 副理事長
東北医科薬科大学 医学部 統合腎不全対策寄付講座 教授
東北医科薬科大学病院 腎臓・内分泌内科 臨床教授
医療法人 宏人会 統括顧問

佐藤 寿伸先生

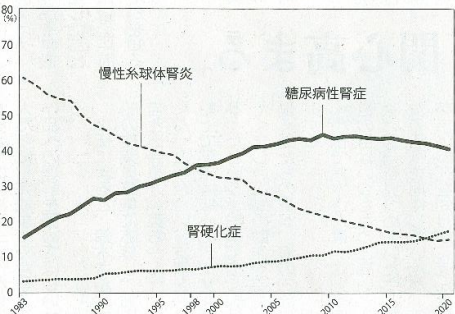
【プロフィール】

宮城県栗原市出身。1982年東京慈恵会医科大学卒業、国立国際医療センター(現国立国際医療研究センター)、ライデン大学医学部腎臓内科(博士取得後研究員)、東北大学医学部腎臓・内分泌科・東北大学病院血液浄化療法部(准教授)、仙台社会保険病院・JCHO仙台病院(腎疾患臨床研究センター長、副院長)を経て2021年から現職。東北医科薬科大学病院腎臓内科(山形市鶴宮)を中心に、宏人会中央クリニック(山形市)、達内科クリニック(栗原市)など広く宮城県内にて腎臓病を中心とした診療活動中。



透析治療を導入する患者数は、日本全国で透析治療を受けている人の数は、2020年をピークにやや減少傾向にあり、毎年約3万7000人が新規に透析治療を開始し、特に70歳以上の高齢者の増加が目立っています。宮城県においても現在、約5000人が透析治療を受けており、毎年約6000人が新規に透析治療を開始しています。

■年別透析導入患者の主要原疾患の推移 (日本透析医学会 統計報告書より引用)



透析治療を導入する患者数は、日本全国で透析治療を受けている人の数は、2020年をピークにやや減少傾向にあり、毎年約3万7000人が新規に透析治療を開始し、特に70歳以上の高齢者の増加が目立っています。宮城県においても現在、約5000人が透析治療を受けており、毎年約6000人が新規に透析治療を開始しています。

生活習慣を見直して腎臓を守り、健康寿命を延ばそう。

「慢性腎臓病(CKD)」は無症状のままに腎機能の低下や蛋白尿などの尿異常が続く状態で放置しておくと、人工透析などの治療を受けなければ生きられない末期腎不全になってしまう恐れがあります。宮城県腎臓協会の佐藤寿伸先生は、生活習慣の見直しを図って発病を予防することにも、定期的な健康診断などによって早期発見、早期治療に努める必要を訴えています。今年も3月14日の「世界腎臓デー」(国際腎臓学会と腎臓財団国際連合)による制定をきっかけに、慢性腎臓病の現状や予防の心掛けについて語っていただきました。

日本透析医学会の統計を見ると透析治療を導入する主要原疾患は1980年頃は慢性糸球体腎炎が最多でしたが、その後減少し、2000年頃から糖尿病性腎症が最も多くなっています。しかし、糖尿病性腎症も2010年を境にピークを過ぎ、最近では動脈硬化性疾患にもなる腎硬化症が増加しています。微かな兆候も見逃さずに腎臓の働きをつぎまにチェック

慢性糸球体腎炎の新規診断・発症数は、どのようになっていますか。前述した通り、慢性糸球体腎炎による透析導入は減少しているのですが、毎年、腎生検による精査を受けた人の50%近くが慢性糸球体腎炎と診断され、慢性糸球体腎炎の新規診断・発症が減少したわけではありません。特に、慢性糸球体腎炎の代表的疾患であるIgA腎症(血尿や蛋白尿が続き、腎臓の糸球体に免疫グロブリン「IgA」が沈着して炎症をおこす病変)は、毎年行っている腎生検の30%弱を占めており、この割合は過去15年間変化がありません。宮城県腎臓協会の調べでは、宮城県内でIgA腎症と診断された患者数は年間150人から200人を数え、過去10年間で、減少傾向は見られませんが、慢性糸球体腎炎が原因で進行した腎不全に陥る人数は減少していることにはなりません。

慢性糸球体腎炎が原因で進行した腎不全に陥る人が減ったのですか。学校や職場、地域での尿検査が普及し、特に血尿を主体に蛋白尿を伴う尿異常が早期に発見されるようになりました。さらに、比較的軽微ながらも入院が短期で済む超音波ガイド下経皮腎生検による精査が広く行われるようになったこと、慢性糸球体腎炎治療の標準化が進んで全国どこでも同じ初期治療を受けられるようになったことにより、慢性糸球体腎炎が原因で進行した腎不全に陥る人が減ったと考えられます。

慢性糸球体腎炎の診断方法や治療は現在も進歩を続けており、より負担が少なく、的確なものになっていきますので、この早期診断・治療の流れを今後も充実させ、慢性糸球体腎炎が原因で進行した腎不全

検査結果の尿蛋白及び推算GFR(e-GFR)に対する対応。*海塩性蛋白尿の場合は蛋白尿、推算GFR(e-GFR)の値に関わらず医療機関を受診してください。*40歳未満でのe-GFR60未満の場合は尿異常の有無に関わらず医療機関を受診してください。

Table with 3 columns: 健診判定 (健康), 尿蛋白 (一), 尿蛋白 (±), 尿蛋白 (++)以上. Rows show eGFR levels and corresponding actions like '医療機関を受診' or '生活習慣の改善'.

(厚生労働行政推進調査事業補助金・腎疾患政策研究事業ホームページ、CKDに関する健診判定と対応分類より引用)

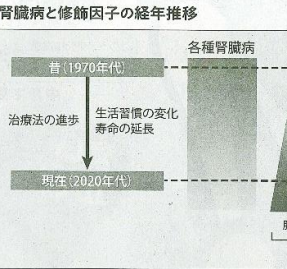
腎疾患の予防や進行抑制をするために大切なこと。若者は、糖尿病の人が蛋白尿をとまなう腎臓病を養病した場合、そのほとんどが古典的な糖尿病性腎症が原因でした。しかし最近では、糖尿病の治療法が進歩し、生活

2種類の腎生検(組織診断のための検査)
最近の調査では、全国で年間約26,000~29,000件の腎生検が行われていると推定されています。(厚生労働科学研究費補助金難治性疾患等政策研究事業(難治性疾患政策研究事業) 分担研究報告書 疾患登録・疫学調査研究分科会報告)また、宮城県で行われた腎生検は、過去10年間で年間500件から750件と約1.5倍に増加しています(宮城県腎臓協会調べ)。

経皮的腎生検: 局所麻酔を用い、エコーガイド下で腎臓に針を進めて行う生検で、入院期間は1週間以内。開放腎生検: 全身麻酔を行い、手術的に側腹部を切開し、腎臓を直視した上で行う生検で、2週間程度の入院が必要。

企画・制作/河北新報社営業局

生活習慣の見直しと降圧効果。減塩(平均食塩摂取減少量=4.6g/日)、減量(平均体重減少量=4.0kg)、運動(30-60分間の有酸素運動)により、収縮期血圧と拡張期血圧の減少効果が確認されています。



腎臓病と修飾因子の経年推移。昔(1970年代)は各種腎臓病(糸球体腎炎など)が主でしたが、現在(2020年代)は生活習慣の変化や修飾因子(肥満、高血圧、脂質異常、糖代謝異常、加齢)の影響が顕著化しています。

腎臓病を予防するにも、腎臓の早期発見と的確な治療が重要です。腎臓は一度傷ついたら元通りに修復することが難しく、加齢にも関わらず機能低下する臓器であるため、腎臓病はその発病を防ぐ・予防することが最も大切です。また、万が一発病してしまっても、あるいは慢性糸球体腎炎のように病因が不明なため発病予防が困難な場合には、できるだけ早期・軽症のうちに見出し、的確な検査と十分な治療を受けるようにしてください。そして何より、生活習慣に関連した増悪因子を減らすことが重要です。

世界の成人の10人に1人、日本人では8人に1人が慢性腎臓病(CKD)。World Kidney Day 2024. 慢性腎臓病(CKD)とは、慢性糸球体腎炎、糖尿病関連腎症、腎硬化症などに代表されるように、異質尿所見や腎機能低下が、多くの場合、無症状で慢性的に続く状態を指します。そのまま放置しておくと、人工透析を受けなければ生きられない末期腎不全になってしまう危険があります。発病予防、早期発見、早期治療することが大切です。本日世界腎臓デー(World Kidney Day) 腎臓病の早期発見と治療の重要性を啓発する国際的な取り組みとして、国際腎臓学会(ISN)と腎臓財団国際連合(IFKF)により制定されました。毎年3月の第2木曜日に実施されます。

宮城県腎臓協会の活動。腎疾患対策のための研究助成、透析医療従事者に対する研究会研修会の開催、腎バンク普及啓発活動、臓器移植コーディネーターの活動、災害対策活動。公益財団法人 宮城県腎臓協会 理事長 吉永 馨

公益財団法人 宮城県腎臓協会 http://www.miyajin.or.jp/ 〒985-0841 宮城県多賀城市鶴ヶ台1-4-1 宮城県多賀城分行会1F 電話:022-361-3696 mail:mjicco@mijajin.or.jp